



◎海外派遣技術員決定

本會の本年度事業に屬する技術員獎勵事業として、福岡縣土木課長の坂本一平氏及兵庫縣勤務地方技師山本廣一氏を、香港上海方面の道路視察に派遣することに決定し、水野會長より所管知事に依頼した。

坂本一平君は、曾て茨城縣土木課長時代に地方道路鋪裝の簡易化を企て同縣の道路を改革した外、橋梁の全部を鐵筋混凝土に改築するの計畫を樹て路政の進展に盡した人、今福岡縣に在つても二號國道を改築しつゝ、あるのであるが、更に工事費三千萬圓を投じて國道と府縣道を、改良せ

むしつゝ、あつて、其の計畫には近代式工法を採用せむとして研究してゐる人である。

山本廣一君は、神戸明石間國道の改良計畫を樹て、今其の工事實施の任に方つてゐる人、非常に熱心な研究家であつて神明國道改築の技術に新味を示してゐるのも亦君に負ふところ頗る多い、技術應用の實際に方つて研究してゐる兩君を今派遣するのは兩君が完成の義務を持つてゐる工事の効果に利するばかりで無く、其の視察に依つて得た所は本誌に發表するから廣く我國路政に貢獻する所は尠少なからう、十分に視察して貰つて本會企圖の實績を擧げて貰ひたい、と共に兩君の出發を祝福する。(た)

◎故堀田貢氏三回忌法要執行

本會副會長であつた堀田貢氏永眠されて早や二年、去る二月三日午後一時郊外鶴見總持寺に於て催主光君に依つて三回忌法要を営まれた、本會よりは丹羽、田中兩幹事列席

して香物を供へた。

同日午後五時から帝國ホテルに於て法要終了披露會が開かれ、水野會長始め朝野の貴顯紳士淑女等百五十名集合して、思出多い氏在世中に於ける昔物語に耽つたが、水野會長は堀田氏最初の任官は自分が周旋したところから説き起して、土木局長、警視總監、内務次官と自分の在官時に、自分を補佐してくれた因縁のあつたことを述べ、氏は明柄な頭腦の持主であるに加へて奮闘努力常に國政に盡し、我が土木行政に貢獻された偉大な效績を賞揚し、子息光君も特に勉學して賢父の志を繼がれたいと、言葉を極めて激勵された。

時恰も議會は解散され、總選舉の準備に酣なるとき、氏をして今も尙在世せしめたならば面白き場面を見たであらうと衆口の一致したところであつた、想起するに今から十年前、氏が計畫された我國道路改良の事業が、此處彼處

に實現され滑かな路上交通を觀るのとき、三回忌法要に列して感慨無量、更に涙を新たにするのであつた。(た)

◎調査部第四分科委員會

調査部第四分科委員會は、二月二十五日午後二時から丸ノ内日本俱樂部に於て會合した。牧委員長、茂庭、物部各委員、三浦、佐藤、岩澤、都筑各幹事出席し、前回に引續き簡易鋪裝全般に互り審議をなし午後九時全部完了して散會した。